

## FD/SD 研修会と「教育プログラム支援制度」の報告 新たな交流の場「FDラウンジ」を紹介

本号では、令和7年度新任教員研修会と第1回全学FD/SD研修会の開催報告を中心に、教育の質向上に向けた本学の取り組みを紹介します。

新任教員研修会では、教育の特色や学生理解を深めるとともに、教員同士の対話を通じて教育実践を見直す機会を提供しました。全学FD/SD研修会では、「障害のある学生への支援～合理的配慮と授業運営～」をテーマに、法改正を踏まえた対応方法を学びました。また、「京都産業大学教育プログラム支援制度」の令和7年度採択結果と令和6年度採択プログラムの学内報告会の様子を掲載しています。さらに、教員同士の自由な情報交換の場として新たに設置する「FDラウンジ」の開催案内も紹介しています。

### 教育支援研究開発センター長からメッセージ

教育支援研究開発センター長  
佐藤 賢一（生命科学部）



教育支援研究開発センター長に再び就任して、早くも一年が経とうとしています。大学における「教育の質」の向上は、制度やカリキュラムだけでなく、日々の授業や対話の積み重ねによって育まれると実感しています。FDはその「育み」を支える土壌であり、教職員が互いの実践に学び合う場の創出がますます重要です。セラデスニュースは、その小さな一歩として、他者の実践にふれ、自らの教育を見直すきっかけとなることを願っています。日々の授業におけるちょっとした工夫や試行錯誤が、大学全体の学びの風景を豊かにしていく——  
そんな可能性を信じて、共に歩んでいきましょう。

### CONTENTS

#### <FD/SD活動の推進>

- P2** 令和7年度新任教員研修会 開催
- P3** 令和7年度第1回全学FD/SD研修会 開催  
「障害のある学生への支援～合理的配慮と授業運営～」
- .....
- P4** 令和7年度「京都産業大学教育プログラム支援制度」採択結果  
令和6年度採択プログラム「京都産業大学教育プログラム支援制度」学内報告会 開催  
FDラウンジ 開設案内
- .....

# 学修者の学びを高める教育実践について

## 「令和7年度新任教員研修会」を開催しました。

本研修会は、本学の教育の特色や学生の特徴を理解していただくこと、教員同士の対話をきっかけとし、今後の授業・教育活動に活かしていただくことを目的として開催しました。

研修会は、オンデマンド配信動画での事前研修と新任教員・教育支援研究開発センター企画委員の情報交換・共有を行う対面での研修の2部構成で行いました。

オンデマンド配信動画での事前研修では、教育支援研究開発センターの副センター長である三田貴先生が本学の「ディプロマ・ポリシー（DP）に基づく8つの資質・能力」、学生の声を聴く対話（双方向）の取り組みである「教員-学生間の授業に関する対話」や授業アンケートの「学習成果実感調査」、4つのコモンズについて等を解説した30分程度の動画を視聴いただきました。



新任教員・教育支援研究開発センター企画委員の情報交換・共有を行う対面での研修会は、5月1日（木）に「学修者の学びを高める教育実践について」をテーマに行い、新任教員13名を含む本学教職員20名が参加しました。佐藤 賢一 教育支援研究開発センター長からの開会挨拶では、自身の新任教員時代に、どのような教育をすればいいのわからない中で、新任教員研修を通じて、様々な学部の先生と対話することにより不安を軽減することができたので、本研修会をそのような場として活用いただきたいと述べました。その後、グループに分かれ、新任教員と企画委員の間でFDの取り組み、授業運営の工夫、学生への対応、コミュニケーションツールの使い方・使い分け等、様々な話題について、情報共有が行われました。

最後に、三田 貴 副センター長からの総括では、「本日は、教育の実践上の良い取り組み例や困りごと、悩みを共有しあった。教育は一方通行では成り立たないため、学生とどう対話していくのがポイントになる。同じ学部でも実践方法の違いや共通することを改めて学べた。」と述べました。

### 参加した 教職員の声

- ・ 講義やゼミなど他学部の情報も共有できて良かった
- ・ Moodle の設定方法などについて勉強になった
- ・ 学生との接し方、授業デザインに関して、いろいろな有益なアドバイスをいただいた
- ・ 先生によって様々な悩みややり方があり、それを共有する機会としてとても有用であった



## 障害のある学生への支援～合理的配慮と授業運営～

講 師：井上 友裕 氏（本学障害学生教育支援センター）



7月8日（火）、「2025（令和7）年度第1回全学FD/SD研修会」を開催し、対面で25名が参加しました。なお、後日講演部分のみオンデマンドで配信を行い、77名が視聴しました。

本学では、学修者本位の教育の実現を目指し、様々な取り組みを行っています。第1回全学FD/SD研修会は「障害のある学生への支援～合理的配慮と授業運営～」をテーマに、本学障害学生教育支援センターの井上 友裕 氏が講演を行いました。

近年、障害のある学生からのニーズが多様化・複雑化していることから、合理的配慮や事前的改善措置の基礎知識を深め、学生の多様なニーズに対応するための具体的な方法を学ぶ機会とすることを目的に開催しました。

研修会では、2024年4月の障害者差別解消法改正により、私立大学においても合理的配慮の提供が法的義務となったことを踏まえ、「合理的配慮」と「事前的改善措置」の違いや関係性について、詳しい解説がありました。合理的配慮の7つの要素（個々のニーズ、社会的障壁の除去、非荷重負担、意向尊重、本来業務付随、機会平等、本質変更不可）をもとに、教育現場での対応のあり方が示されました。

また、障害学生教育支援センターの役割や、実際に寄せられた配慮・調整依頼の傾向についての紹介もありました。障害学生教育支援センターは、障害のある学生が修学上の困難を抱えた際に、合理的配慮の受付・通知を行う窓口として機能しています。学生との面談を通じて、授業や試験における困りごとを整理し、教員に対して配慮・調整依頼を通知するほか、必要に応じて音声文字通訳や字幕付与などの支援技術の提供を行っていることの説明がありました。井上氏からの講演後、学長、副学長含む教員・職員混同でグループワークを行い、支援が必要な学生に対して、授業運営や授業課題での対応についての事例紹介や情報共有を行いました。



### 参加した 教職員の声

- ・合理的配慮や事前的改善措置について、詳しく学ぶことができた
- ・実際に今学期に配慮学生への対応で学部として課題を抱えたため、今一度、合理的配慮とは何か、また組織としてどのような対応をすることが必要かを検討するための課題整理ができた
- ・合理的配慮の提供が義務化され、大学として対応できる内容を知りたいと思っており、今回の研修で理解することができた

## 令和7年度「京都産業大学教育プログラム支援制度」採択結果

「京都産業大学教育プログラム支援制度」は、本学の教育の質向上を目指し、授業科目の開発・運営、正課の授業にかかる基礎調査や試行的取組等のFD活動に対する支援を行う制度です。

令和7年度は、公募（追加含む）・審査した結果、下記の4つのプログラムが採択されました。  
取組活動概要は、以下QRコードからご確認ください。

「令和7年度教育プログラム支援制度」採択プログラム一覧（申請受付順）

- 「学生エンゲージメントを高める学内情報提示アプリの開発と実証」  
申請代表者：情報理工学部 棟方 渚 教授
- 「ハテナソンセミナーにおけるコーチングの導入、ワークブック制作」  
申請代表者：生命科学部 佐藤 賢一 教授
- 「理学部 課題発見・解決チャレンジ」  
申請代表者：理学部 牛瀧 文宏 教授
- 「初年次教育実践知の共有整理発信と持続性向上の基礎形成」  
申請代表者：共通教育推進機構 中澤 正江 准教授



採択プログラム取組活動概要

## 令和6年度採択プログラム「京都産業大学教育プログラム支援制度」 学内報告会 開催

8月5日（火）に教育プログラム支援制度学内報告会（令和6年度採択プログラム）を開催しました。  
学内報告会では採択された教員から、取り組まれてきたプログラムの実施内容や成果を報告いただきました。  
取り組み報告の後、報告者と参加者で自由な意見交換を行いました。在間学長をはじめ、25名の教職員が参加し、報告された先生への質問も活発に行われました。

「令和6年度教育プログラム支援制度」採択プログラム

- 「サイバー空間での共同作業を実現するプラットフォーム空間」  
申請代表者：理学部 齊藤 国靖 教授
- 「ユーザーの行動変容を促す疎密制御システムの大規模実証実験」  
申請代表者：情報理工学部 棟方 渚 教授
- 「京都産業大学ハテナソンセミナーの教育成果と発展施策」  
申請代表者：生命科学部 佐藤 賢一 教授



## FDラウンジ 開設案内

教員同士が気軽に集まり、日々の教育にまつわるちょっとした悩みやアイデアを  
ざっくばらんに話せる「FDラウンジ」をお試しで始めます！

開催頻度は月1回、申し込みは不要、対面で開催します。「授業でこんなことやってみたいけど、どう？」「他の先生は、こういう時どうしてる？」など、雑談感覚で気軽に交流できる場です。教育のヒントは、何気ない会話の中にあるかもしれません。気軽にお立ち寄りください！

- 10月8日（水）13:15 ～ 14:15
- 真理館2階学生コモンズ

